

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	下水道河川課 担当課長 田邊 由洋
都整-30 調整区域施設整備事業費(特別会計)		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 下水道河川課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	下水道・河川	施策の方針
			下水道の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	生活環境の改善及び公衆衛生の向上に寄与し、公共用水域の水質の保全に資するため。
効果	下水道の整備に伴い、川や水路の水質を改善する。

2 平成26年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 下水道法の事業認可を受けた市街化調整区域内の汚水管渠の築造工事や汚水ますの設置を行った。 前年度からの繰越明許費により、深沢枝線の築造工事外1件を完了させた。 笛田第2枝線の築造工事については、翌年度へ繰越しを行った。 深沢枝線の築造工事については、翌年度へ繰越しを行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日(住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	49,200	決算値(千円)	42,617	
	国県支出金	23,400	国県支出金	18,948	
	地方債	23,270	地方債	13,300	
	その他	2,530	その他	9,170	
	一般財源	2,530	一般財源	1,199	
事業経費運営	人員配置数	1.6	人員配置数	2.0	
	人件費(千円)	12,508	人件費(千円)	15,343	
	総事業費(千円)	61,708	総事業費(千円)	57,960	
	市民1人当りの経費(円)	348	市民1人当りの経費(円)	327	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	鎌倉山地区は、通信ケーブル、ガス管及び水道管が輻輳しており、推進工の立坑位置などの選定に課題があった。梶原地区は、幅員が狭く重機が利用できないなどの施工条件に課題があった。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	鎌倉山地区は、推進工法で対応できる最大推進延長などを考慮して、他企業の管に影響が最小限となるように工法や立坑の位置を選定した。梶原地区は、公共下水道整備に住民の強い要望もあり、施工方法に関しても関係自治会と協議した。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	鎌倉山地区では、公共下水道管の整備に関しては理解しても、受益者負担金や切替工事費の負担が難しいなどの理由で公共汚水桝の設置に理解を得るのに時間がかかる。	
効率性	事業費に削減余地はないか 関連・類似事業との統合はできないか	2. ない 3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか 事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 今後も市が実施すべき事業か	3. 変わらずにある 3. 廃止・休止による影響は大きくある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか 事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である 3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 ・関連課や地元自治会などに協力を要請しながら、早期に下水道整備を実施する。 ・国の補助金制度の見直しの動向を見ながら、最善の整備手法等を検討する。
総評	公共水域の水質の保全に対する要望や早期の利用を望む要望もあることから、普及が多く望める箇所を優先に事業を進める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	下水道人口普及率 調整区域着手状況								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	97.0%	95.1%	95.4%	97.4%	82.0%	97.6%	59.0%	100.0%	32.7%
	着手済み	着手済み	公共性の高い建築物等	着手済み	公共性の高い建築物等	公共性の高い建築物等	未着手	着手済み	未着手
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	下水道人口普及率が高い自治体は、市街化調整区域の公共下水道の事業を実施している実態を確認することで、事業の必要性を理解してもらう。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	整備率(%) : 市街化調整区域の事業認可面積に対しての、整備済み面積の割合						単位	ヘクタール	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
事業全体の進捗率を的確に表現できるため。	目標値	54.6	54.6	54.6	54.6	54.6	54.6				
	実績値										
	達成率										
指標の内容	整備延長						単位	m	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
年度目標の達成状況が確認できるため。	目標値	456.1	594.7							前年度繰越延長を含む	
	実績値	231.1									
	達成率	50.7%									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---